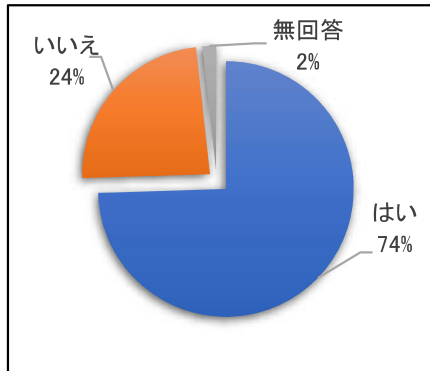


4. 就労に関する分析報告

調査票の『仕事について』は質問1～質問12までありましたが、ここでは主要な結果について報告します。

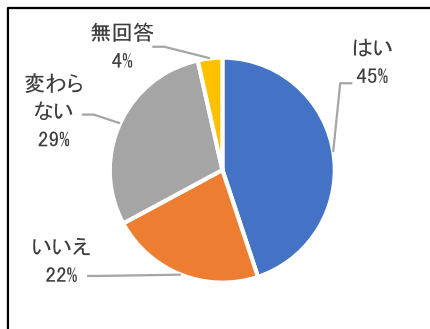
・現在、仕事をしていますか



パーソナルデータで仕事の有無を聞いたところ仕事をしている人は74%となりました。そのうち、勤務時間や勤務日数が減っている人は45%で、さらに主な出身国で給料について聞いたところ、パキスタン、ベトナム、ネパールの※「就労」や「技能」の在留資格で減っている割合が高いことが分かりました。そして、全員への質問では、休業支援金などを受け取った人は、18%にとどまり、生活が苦しくなった人は50%を占めました。

(仕事をしている人への質問)

質問5. COVID-19 前と比べて勤務時間や勤務日数は減りましたか。



※本文書での就労系の在留資格の分類について

「就労」法別表第1-2の在留資格※1、「技術・人文知識・国際業務」「経営・管理」等。ただし、就労の分析に必要な為に、「技能」と「技能実習」をこの文書では除く

「技能」（産業上の特殊な分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する。各国料理の調理師等）

「家族滞在」「就労」や「技能」の在留資格の人に扶養される妻子等。就労不可だが、資格外活動許可を取得すれば、週28時間以内のアルバイトが可能

「留学」日本語学校や専門学校等に通う留学生。資格外活動許可を取得すれば、週28時間以内※2のアルバイトが可能

「技能実習」「技能実習1号、2号、3号」の全て。転職等は出来ない

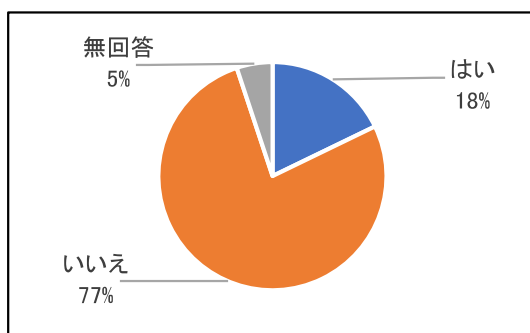
「その他」「特定活動」等

(仕事をしている人への質問) **質問6. COVID-19で給料が減った人の割合(主な出身国6か国)**

	中国	フィリピン	ネパール	ベトナム	タイ	パキスタン
減った人の割合	31%	36%	51%	72%	55%	94%

(全員への質問)

質問3. COVID-19で休業支援金などをもらいましたか。



(全員への質問)

質問6. COVID-19で生活が苦しくなりましたか。

